

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	交通安全施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	02	01	13	06	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	道路管理課				
施策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	道路反射鏡 道路標識（警戒標識・案内標識等）	意図	市道の交通危険箇所に道路反射鏡や道路標識等の交通安全施設の適切な整備と維持管理により車両通行等の危険を防止する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡の定期巡回による点検、清掃及び方向修正を行う。（業務委託） 破損、老朽化した道路反射鏡の適切な維持管理と修繕を行う。 破損・老朽化した道路標識の補修等により安全を確保し事故を防止する。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設等整備に関する緊急措置法の施行（昭和41年4月1日）及び交通安全対策基本法の施行（昭和45年6月1日）により車社会に即応した道路交通環境の整備（交差点改良・歩道整備等）が必要であるものの、これらの整備は多額の予算と時間がかかるため、道路反射鏡や道路標識等による危険箇所の改善及び安全啓発は急務であり、今後も適切な整備と維持管理が必要不可欠である。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	道路反射鏡定期巡回点検を実施した延べ基数	3,094	1,955	4,011	基		
	道路反射鏡台帳整理実施延べ基数	89	100	186	基		
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・主に地元自治会等からの設置要望により、危険な交差点に道路反射鏡を設置し安全を確保してきたが、近年老朽化による破損した道路反射鏡も多く見受けられる事から、点検を強化し、適切に維持管理していかなければならない。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,962,623	4,302,255	4,512,910			
事業費(b)(円)		1,916,023	2,206,155	1,964,520			
うち一般財源		1,916,023	2,206,155	1,964,520			
職員給与費(c)(円)		1,046,600	2,096,100	2,548,390			
人役・職員(人)		0.10	0.30	0.30			
人役・再任用(人)				0.20			
人役・臨職(人)		0.30					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡は早期に設置されたものが、老朽化により道路上に倒れることが発生していることから、多くの基数を短時間で確認する必要があり、点検方法についても検討する必要がある。 	取組みの課題	<ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡の設置要望が多く年々増加傾向にある。このことから、適正な設置と維持管理が重要となってくる。
今年度(H26)に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 多くの基数を点検するために、確認する点検業務の効率を良くし、交通の危険防止に努めた。 	今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 今後も道路反射鏡の維持管理を徹底し、交通事故防止に努めていく。